

鹿市医郷壇



528

樋口 一風 選

兼題「気忙し」(きぜわし)

天

伊敷支部 谷山五郎猫

早よせえち気忙し亭主い腹立っ

(唱) ゆつくい飯も食ださんち女房
(評) 何をするにも、せかせかと気忙しい人がいるものです。この人の辞典には「ゆつくり」などは、ありそうにありません。ゆつくりするのが、何より苦手で、ゆつくりしている人を見ると、いらいらして怒りたくなる人です。こんな人と暮らすと、何をするにも急かされて、のんびり屋の人など困ることでしょう。ピリピリしないで馬耳東風と受け流しましょう。

薩摩郷句鑑賞 168

薩摩狂句暦

三條風雲児著 から

栄転な大黒様どまけ忘れっ

税所 彩

大黒様のことを、鹿児島では「でこっさあ」とか「でこっどん」という。普通なかえの片隅に祭られている。(なかえ)というのは、おもて(表座敷)に対する下座敷、内座敷という意味であろう。この神様は、囲炉裏の近くにいたるせい、煤けた神様で、花も柴花しか供えない、なりふり構わず、質素な神様だから、家を裕福にしてくれそうである。栄転して、そんな神様を忘れてしまうようでは、情けない話である。

一升炊き蕎麦切ゆしこた雪日和

岩崎 美知代

今日は二十四節気の一つ大雪。南国ではぴんとこないが、本格的な雪の季節に入ることだろう。寒くなると、鍋ものだの、うどんやそばだのが好まれるけれども、お腹の中から温まるであろう。この句も、雪のちらつく寒い日に、手打ちそばをどっさり用意して、家族の帰りを待っている情景を詠んだものであるが、おいしそうにそばをすすする音が、聞こえ

地

清滝支部 鮫島爺児医

仕事ちや無が師走しなつたや気忙しゆし

(唱) 何もせんどん世間な活気
(評) 昔は正月の準備の材料を買う人で、天文館は元より「納屋ん馬場」や朝市は、大変な人出でござった返してました。商売人も年末決算の一年分の支払いをするので、師走は忙しいものでした。また家庭でも、大掃除は年末のイベントで、障子の張替えなど家族総出で行っていました。この句の人も、もう仕事は退いても師走になると、何となく気忙しくなります。

人

紫南支部 加治屋犬好

年の瀬あ何が何やら気忙し

(唱) 元氣じゃったで良か年し感謝
(評) 昔は、正月に歳を取り、何もかも新しくなると考えそれぞれの行事がありました。その節目の新年を迎える準備をするための年の瀬は忙しいものでした。核家族化して家庭で、正月の行事もなくなり、雑煮さえ作らない家庭があるやに聞きます。だから、この句のように、年の瀬も日常の生活と同じく感じているようです。面白い発想を取り上げました。

てくるようである。

薩摩郷句誌 洪柿八三三号雑吟から

遠矢 耐多

エッフェルん真似で良か椅子しやひん逃げっ

(唱) 使命ゆ忘れっ丸でお上い

太田 太陽

疲れさせっ御一行様が帰っ行っ

(唱) 丸で台風で婆様は寝込ん

西ノ園 ひらり

小遣げどん持たせっ姉を葬い出っ

(唱) 六文どんじゃ気細かじやろで

米元 年輪

菊の花ね醒めた造花が秋く譲っ

(唱) 香いが良して嬉し墓石

入来院 彦六

親へ言う文句脱皮思えば頼もしゆし

(唱) 考げっ下れた親父の拳骨

井戸川 三鶴

大世間に恥ずば晒せつ長ご生きっ

(唱) 卑下をしゃんな貴男な立派

五客一席

上町支部 吉野なでしこ

コロナ明け出会が増っ気忙しか

(唱) 心配いなつとあ患者ん増加

五客二席

伊敷支部 谷山五郎猫

大儀せこっじや気忙し女房ん荷物持っ

(唱) 両方べ持たすつ大とか荷物

五客三席

清滝支部 鮫島爺児医

師走しなつ気忙しとこい風邪流行

(唱) 医者ん性じやろじつとは出来じ

五客四席

紫南支部 加治屋犬好

一時も待てじ気忙し爺ん性格

(唱) ど鈍り女房どま付てな行かれじ

五客五席

紫南支部 二軒茶屋電停

一年中師走言をそな気忙し爺

(唱) 暇を見しけつゴルフをしもそ

秀逸

清滝支部 鮫島爺児医

正月前すい事ちや多こし気忙しゆし

人並に師走しや気忙し言て一日

師走しなつ正月つ控えっ気忙しゆし

上町支部 吉野なでしこ

月末はあいもこいもち気忙しゆし

伊敷支部 谷山五郎猫

早よビール次ぎや焼酎じやつち気忙し爺

伊地知 孝

老夫婦氣が合た時先が無し

(唱) 百歳ずい生きつ仲良ゆ暮らそち

柳村 遊月

部課長も欠伸ぶ始でけた長げ訓話

大スタんCMん品直き売れっ

値上げをば見込ん買った焼酎ちや直き空

来たライン見い見いパパあ買物しっ

郷句募集

◎2号

題吟「化粧(けしよ)」

締切 令和6年1月9日(火)

◎3号

題吟「頑張(きばつ)」

締切 令和6年2月6日(火)

◆選者 樋口 一風

◆漢字のわからない時は、カナで書いてご応募くだされば選者が適宜漢字をあてさせていただきます。

◆応募先 千八九二一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL 〇九九一二二六・三三七
FAX 〇九九一二二五・一六〇九九
E-mail: ihou@city.kagoshima.ned.or.jp